

「第8回 横浜の子どもが作るお弁当コンクール」 報告書

テーマ：横浜の地場産物を使って〇〇さんといっしょに食べたい弁当を作ろう！

お弁当は生きる力を育む「宝箱」

本コンクールは、横浜市の教員や学校栄養士経験者及び様々な形で子どもたちに関わってきた者たちが、子どもたちの「生きる力」を育みたいという思いで繋がった事業です。加えて横浜が誇るお弁当のプロフェッショナル・生産者に関わる人・スポーツと食の大切さを実践し伝える人・調理器具を扱うプロ等の協力を得て、8年にわたり多くの「宝箱」に出会ってきました。

一つのお弁当を完成させるためには、その完成図を頭に描き、味・色どり・旬・調理法・栄養などバランスを確認しながら進めます。実際には、調理の担い手が食材を手に入れる段階でそのプログラミングはスタートし、食材の役割や段取り、保存方法や使用するタイミングなど頭の引き出しに入れたり出したりしながら調理していくことで、箱の中身は完成していきます。

私たちが求める「生きる力」とは、想像力や経験を修正しながら積み重ねていくことに加え、その完成図に人を思い描くことで、「すべての学びや活動」の先には必ず「人」が存在していることを肌で感じて欲しい、お弁当を作る行為が「心身の健康」を維持するだけではなく、将来にわたって自らを支えられる「宝箱」であることを知って欲しいと思います。そして、1回でもその経験をした皆さんは、間違いなく周りの人をもその「宝箱」に取り込む心豊かな時間を創出したことを自負して欲しいと思います。

さあ、自分の将来のために「お弁当」という小さな箱を活用しましょう。食材一つ知ること、切り方一つ工夫することで、経験というエネルギーが「生きる力」にチャージされていきます。そして、人を思い行動することの積み重ねが、「豊かな心」として彩られていくことを知っておいてください。次回また、たくさんの「宝箱」に会えることを楽しみにしています。

審査委員長 料理研究家 長島由佳



～10月1日（土）一次審査のようす～

～11月3日（木）二次審査のようす～



〈小学校入選者〉

末吉	4年	小原礼士
白幅	4年	峰島果乃子
本牧南	3年	中内檜麻
善部	5年	中村愛花
善部	6年	藤川さわ
万騎が原	5年	山崎明莉
金沢	4年	河野華子
箕輪	1年	中村杏菜
箕輪	2年	新里柚乃
箕輪	6年	金子晃平
東戸塚	3年	泉名穂ノ歌
上飯田	5年	塚本詠舞

入選おめでとう
ございます！



〈特別支援学校入選者〉

ろう特別支援	高3年	長谷川滉樹
ろう特別支援	高3年	中田愛美
ろう特別支援	中3年	瀬高藍之介
ろう特別支援	中2年	岡野恵大
横浜わかば学園	中1年	R・I

〈中学校入選者〉

上の宮	2年	城野芽依
生麦	3年	難波美琴
老松	2年	福井琴菜
老松	3年	熊谷涉
老松	3年	和久津理王
老松	3年	西村真琴
本牧	3年	安永りこ
港	2年	オン マティアス
篠原	2年	井手祐輔
篠原	3年	高野安寿
上飯田	2年	御調隼輝
上飯田	2年	前田結南
上飯田	3年	川部滯音